

【がん種】 胃癌
【レジメン名】 mFOLFOX6+Nivolumab
【登録番号】 160732
【1コースの期間】 2週間
【投与間隔調整規定】 -1日
【総コース数】 進行・再発:PDまで
【催吐性リスク】 中等度:エルブラット、軽度:5-FU、最小度:オブジーボ
【抗がん剤の組織障害性】 イリタント(炎症性):エルブラット(漏出時の冷却禁止)、5-FU、ノンピシカント(非壊死性):オブジーボ
【投与量に制限のある薬剤】 なし
【主な有害事象】 白血球減少、好中球数減少、貧血、血小板数減少、AST増加、ALT増加、下垂体機能低下症、副腎機能不全、甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、高血糖、注入に伴う反応、サイトカイン放出症候群、アレルギー反応、疲労、間質性肺炎、心筋炎、血栓塞栓症、消化管穿孔、悪心、嘔吐、食欲不振、口腔粘膜炎症、味覚不全、下痢、便秘、末梢性感覚ニューロパチー、末梢性運動ニューロパチー、注射部位反応、筋肉痛、関節痛、湿疹
【必要な検査】 一般採血、胸部X線、TSH、遊離T3、遊離T4、血糖、コルチゾール、ACTH
【根拠論文】 Lancet 398:27-40, 2021.
【点滴の時間】 [day1~]50時間10分
【その他】 原則、CVポートを増設して治療を行う。
 携帯型ポンプの使用可否:CVポートを造設している、外来で治療する場合(入院導入後に外来へ移行する場合には初回入院時も使用可能、外来に移行せずに入院で治療を継続する場合には使用不可)。

携帯型ポンプ使用時

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日				
					1	2	3	...	14
1	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ	○				
2	生理食塩液 100mL オブジーボ点滴静注	1 B 240 mg	側管	30分 フィルター使用 シリコン製ポート使用禁止	○				
3	生理食塩液 50mL	1 B	側管	全開	○				
4	生理食塩液 100mL アロキン静注 0.75mg デカドロン注射液 1.65mg/0.5mL デカドロン注射液 6.6mg/2mL	1 B 1 V 2 A 1 V	側管	30分 フィルター使用	○				
5	5%ブドウ糖液 250mL レボホリナート点滴静注用「ヤクルト」 6のエルブラットと同時に開始	1 B 200 mg/m2	側管	2時間 フィルター使用	○				
6	5%ブドウ糖液 250mL エルブラット点滴静注液 5のレボホリナートと同時に開始	1 B 85 mg/m2	側管	2時間 フィルター使用	○				
7	生理食塩液 50mL 5-FU注	1 B 400 mg/m2	側管	全開 フィルター使用	○				
8	5-FU注	2400 mg/m2	側管	46時間 携帯型ポンプ使用	○				
9	デカドロン錠 4mg	1 錠/回	内服	1日2回朝食後	○	○			

携帯型ポンプ未使用時

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日				
					1	2	3	...	14
1	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ	○				
2	生理食塩液 100mL オブジーボ点滴静注	1 B 240 mg	側管	30分 フィルター使用 シリコン製ポート使用禁止	○				
3	生理食塩液 50mL	1 B	側管	全開	○				
4	生理食塩液 100mL アロキン静注 0.75mg デカドロン注射液 1.65mg/0.5mL デカドロン注射液 6.6mg/2mL	1 B 1 V 2 A 1 V	側管	30分 フィルター使用	○				
5	5%ブドウ糖液 250mL レボホリナート点滴静注用「ヤクルト」 6のエルブラットと同時に開始	1 B 200 mg/m2	側管	2時間 フィルター使用	○				
6	5%ブドウ糖液 250mL エルブラット点滴静注液 5のレボホリナートと同時に開始	1 B 85 mg/m2	側管	2時間 フィルター使用	○				
7	生理食塩液 50mL 5-FU注	1 B 400 mg/m2	側管	全開 フィルター使用	○				
8	生理食塩液 500mL 5-FU注	1 B 2400 mg/m2	側管	46時間 フィルター使用	○				
9	生理食塩液 100mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ	○				
10	デカドロン錠 4mg	1 錠/回	内服	1日2回朝食後	○	○			